

# U.S. Indicators

発表日:2023年11月1日(水)

## 米国10月CB消費者マインドは緩やかな消費減速を示唆

～10月の労働市場の好調示唆も、景気や雇用の先行きにより慎重に～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel:050-5474-7493)

23年10月のCB消費者信頼感指数は、102.6（前月104.3：改定前103.0）と1.7ポイント低下にとどまり、市場予想の100.5（筆者予想102.2）を上回った。10月のCB消費者信頼感指数は、堅調な景気、良好な労働市場を背景に比較的高い水準を維持しており、個人消費の緩やかな減速を示唆していると考えられる。

現状指数が143.1（前月146.2：改定前147.1）と前月比▲3.1ポイント低下したほか、期待指数が75.6（前月76.4：改定前73.7）と同▲0.8ポイント低下した。物価高や金利上昇による家計負担の増加等によって、景気の状態への楽観的な見方が弱まり、景気や雇用の先行きに対する悲観的な見方が強まった。

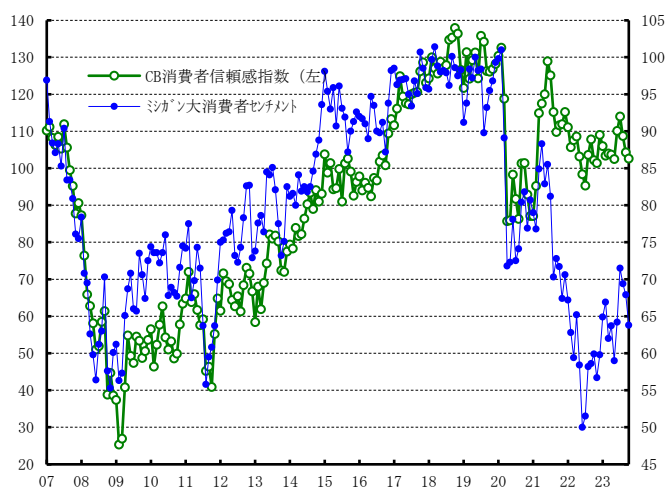
現状指数の詳細では、現状指数の構成項目の「雇用」がプラス幅を拡大した一方、「景気」がプラス幅を縮小した。現在の雇用機会に対する判断（「充分」－「困難」）が+26.3（前月+25.5：速報+27.3）とプラス幅を拡大、現在の労働市場に対する楽観的な見方が強まった。現在の雇用機会に対する判断（「充分」－「困難」）は、失業率と同じ方向に動く傾向があり、10月の失業率が9月の3.8%から低下している可能性の高いことを示している。一方、現在の景気に対する判断（「良い」－「悪い」）が+0.8（前月+5.1：速報+4.5）とプラス幅を縮小しており、現在の景気に対する楽観的な見方が弱まった。

期待指数の構成項目では、「収入」がプラス幅を縮小したほか、「景気」、「雇用」がマイナス幅を拡大した。6ヵ月後の収入に対する見方（「増加する」－「減少する」）は、+2.6（前月+3.8：速報+1.9）とプラス幅を縮小し、楽観的な見方が弱まった。また、6ヵ月後の景気に対する見方（「良くなる」－「悪くなる」）は、▲3.7（前月▲3.4：速報▲4.3）とマイナス幅を拡大し、景気の先行きに対する悲観的な見方を強めた。さらに、6ヵ月後の雇用に対する見方（「多くなる」－「少なくなる」）は、▲3.0（前月▲2.7：速報▲3.4）とマイナス幅を拡大し、雇用の先行きに対する悲観的な見方を強めた。

### 消費者信頼感（Consumer Confidence）

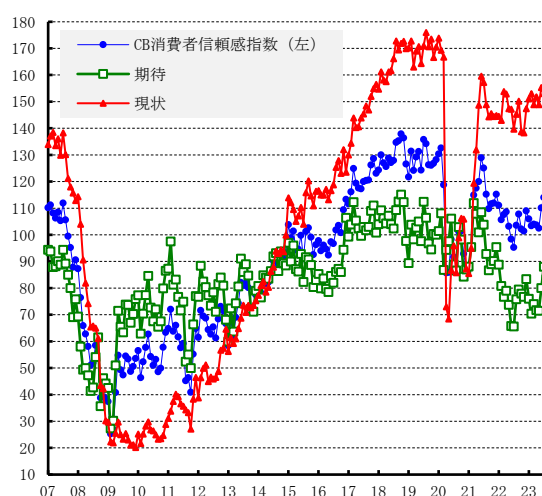
	消費者信頼感指数										ミシガン大学消費マインド <sup>®</sup>		
	期待指数	現状指数	雇用判断		半年後の景況感		半年以内の購入計画		期待	現状			
充分			困難	良くなる	悪くなる	自動車	住宅						
22/10	102.2	77.9	138.7	44.8	13.0	19.6	24.3	12.9	7.4	59.9	56.2	65.6	
22/11	101.4	76.7	138.3	45.2	13.7	19.8	21.0	10.4	6.5	56.7	55.5	58.7	
22/12	109.0	83.4	147.4	46.4	11.9	20.9	19.9	11.0	6.6	59.8	60.0	59.6	
23/01	106.0	76.0	151.1	48.1	11.1	18.4	22.6	11.1	6.3	64.9	62.6	68.5	
23/02	103.4	70.4	153.0	51.2	10.5	14.6	21.6	9.7	5.4	66.9	64.5	70.7	
23/03	104.0	74.0	148.9	47.9	11.4	16.4	19.2	11.0	6.0	62.0	59.2	66.3	
23/04	103.7	71.7	151.8	47.5	10.6	14.1	21.4	10.0	5.5	63.7	60.6	68.5	
23/05	102.5	71.5	148.9	43.3	12.6	13.2	21.4	11.5	5.9	59.0	55.1	65.1	
23/06	110.1	80.0	155.3	45.4	12.6	14.6	17.7	11.0	5.9	64.2	61.1	68.9	
23/07	114.0	88.0	153.0	43.7	11.3	17.2	14.5	11.7	5.6	71.5	68.3	76.5	
23/08	108.7	83.3	146.7	39.9	13.2	17.5	17.3	12.3	6.1	69.4	65.4	75.5	
23/09	104.3	76.4	146.2	39.7	14.2	15.3	18.7	11.7	5.5	67.9	65.8	71.1	
23/10	102.6	75.6	143.1	39.4	13.1	16.5	20.2	10.6	5.3	63.8	59.3	70.6	

(図表) 消費者マインドの動向(月次)



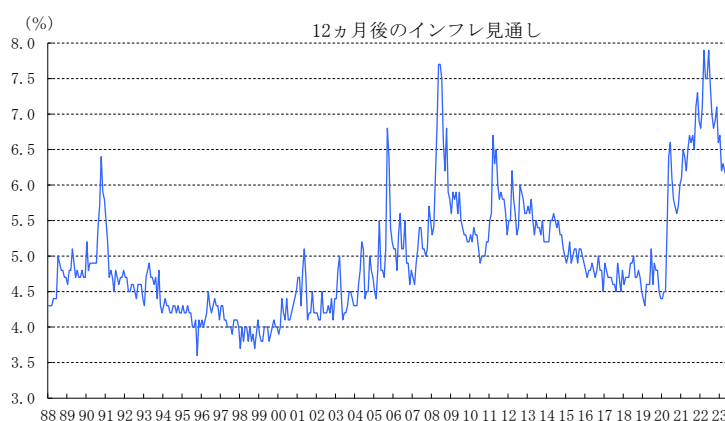
(出所) CB、ミシガン大学

(図表) 消費者マインドの動向(月次)



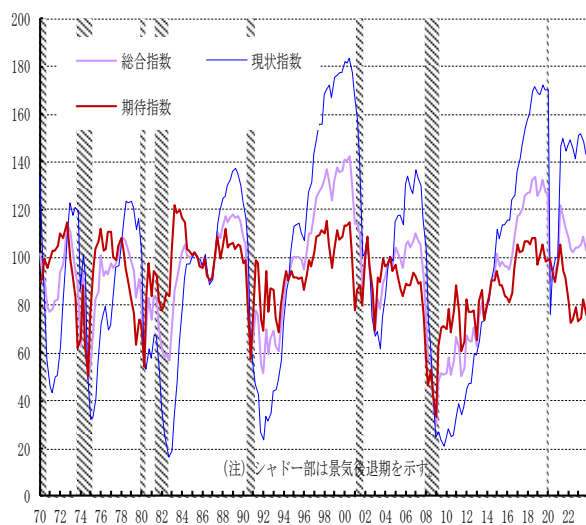
(出所) CB

インフレに関しては、1年先のインフレ見通しが5.9%（前月5.7%）と高い上昇が予想されており、インフレの鈍い低下が継続することを示唆している。

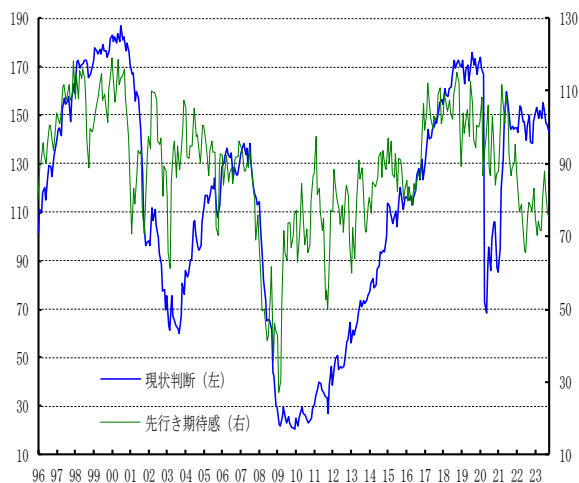


24年初にかけて、利上げ終了期待の高まりを受けた長期金利の安定や、景気後退懸念の弱まり等が、期待指数の下支えに繋がる可能性が高い。一方、これまでの利上げや中堅銀行の破綻を受けた信用状況の引き締まり、市場金利の上昇、コスト増加等を受けた景気の減速、労働需給ひっ迫の緩和を背景に、現状指数が低下すると見込まれる。この結果、CB消費者信頼感指数は90台に低下し、個人消費減速の一因になると予想される。

消費者信頼感指数の推移(四半期)

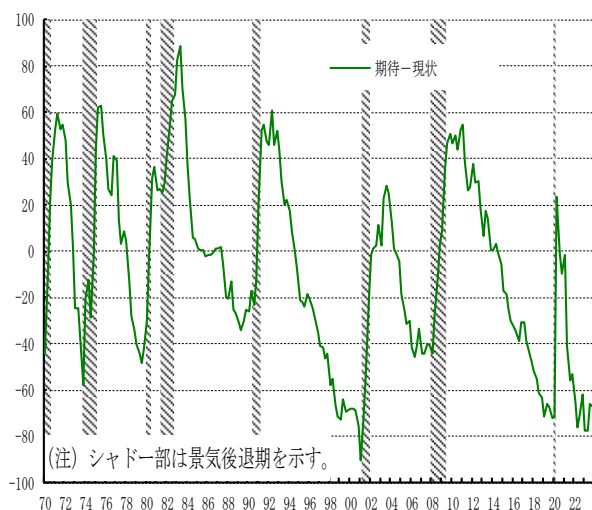


消費者信頼感指数の推移

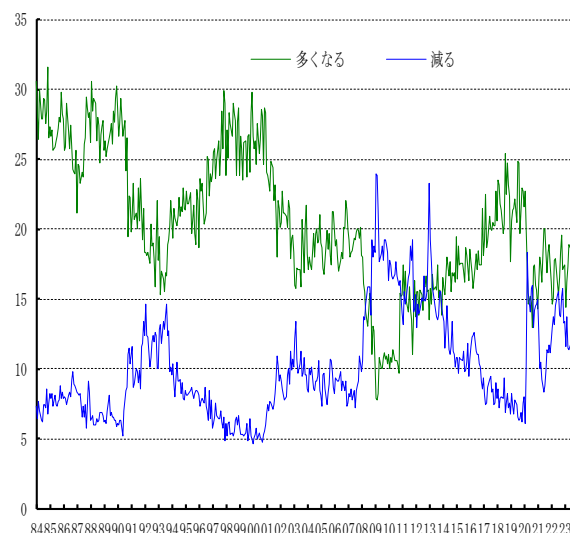


(出所)CB

(期待指数-現状指数)の推移



(%) 6ヶ月後の収入見通し



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。